

部局名	子ども部	所属名	しろばら幼稚園	所属長名	鈴木 松代	電 話	484-7321
-----	------	-----	---------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3422		事務事業名称	しろばら幼稚園維持管理事業					短縮コード	経常	3422	臨時	3862
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	04	幼稚園費	目	01	幼稚園費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		学校教育法第1条及び第77条～82条							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
しろばら幼稚園は、保育料が安く誰でも入りやすい公立幼稚園がほしいという市民の願いもあり、昭和47年10月1日に創立された。同時に事務事業の開始となった。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
昭和47年10月1日に創立されてから今日に至るまで、社会情勢は大きな変化を遂げた。園も平成14年度には現在の場所に移転した。従って、事務事業を取り巻く状況も変化していると言わざるを得ない。今後、時代の流れは急速であり、その動向に対して迅速な対応が必要である。 平成20年度に、公立幼稚園の存続について「あり方検討委員会」を設け、あり方について保護者も交えて考えていった。しかし、幼児教育を充実させていくという提言書を提出して、平成23年度をもって廃止となる。					大項目（節）	01	学校教育						
					中 項 目	01	幼児教育						
					小項目（施策）	01	幼児教育の充実						
					細 項 目	01	幼稚園の充実						
02	就園機会の拡充												
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成20年4月 ～ 平成21年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	1 4歳児から5歳児の幼児とその保護者 2 施設・設備							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 幼稚園・小学校（勝田台南小学校）の連携を図るとともに、施設設備の整備を行い保育の充実に努めた。 1 園庭の整備・清掃 2 遊具の点検 3 施設内部の整備・清掃等							
	※平成21年度に計画していること： 上記の内容を計画的・継続的に実施する。							
意図 （何を狙っているのか）	安全で、快適な環境での保育							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	19年度	20年度		21年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	在園児数	人	61	70	61	70	
	指標2	施設・設備の定期的点検実施	%	100	100	100	100	
	指標3							
活動指標	指標1	定期的な計画的点検整備	%	100	100	100	100	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	施設・設備の不備を原因とする園内での事故発生件数	%	0	0	0	0	
	指標2	安全・快適度(数値化については課題としたい)						
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3422		事務事業名称		しろばら幼稚園維持管理事業				所属名		しろばら幼稚園	
				単位	１９年度		２０年度				２１年度		
					実績		計画		実績		計画		
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0		0		0		0			
		県	千円	0		0		0		0			
		地方債	千円	0		0		0		0			
		一般財源	千円	0		0		0		0			
		その他	千円	202		450		447		125			
	主な事業費の内訳			修繕料 6 8 千円 6 3 千円 備品 6 1 千円		委託料 8 1 千円 委託料 6 3 千円 備品 3 0 6 千円		修繕料 8 1 千円 委託料 6 3 千円		修繕料 5 0 千円 委託料 6 3 千円			
	人件費 (B)			千円	1, 583		1, 572. 5		2, 125. 4		2, 116. 8		
トータルコスト (A) + (B)			千円	1, 785		2, 022. 5		2, 572. 4		2, 241. 8			

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	教育現場であるしろばら幼稚園の維持管理の充実は、人間尊重都市の具現化の象徴的な意義を持つとともに幼児教育の高揚に直接関わる。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
目的 妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	しろばら幼稚園は、平成14年度に旧しろばら幼稚園園舎から、現在の勝田台南小学校内に移転した。幼小連携を特色として事業を展開しており、今後も協力関係を維持し、より良い事業の推進に努める。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
目的 妥当性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	園舎が独立しているのであれば、民営化も可能かもしれないが、本園は、園舎が勝田台南小学校と一体をなしている公立の教育施設であることを踏まえると事務事業の主体を全面的に移行すること自体には無理がある。すなわち、民営化を想定した場合、例えば、市長部局や教育委員会及び学校（勝田台南小）と、どのように調整をするのであろうか。この環境の中で、民間事業者が事業を円滑に処理することは難しいのではないかと考える。					
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
目的 妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	教育現場において、「対象」・「意図」については普遍的事項であり、現状のままでよい。特に「安全」は全てのことに最優先される内容であり、最重要課題である。園児が安心して楽しく過ごす環境作りを推進し、保護者の信頼を得ながら、計画的、組織的、継続的に施設・設備等の充実を図る。					
			☐ 見直す必要がある						
			☐ 評価対象外事項						
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある						
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☒ 両方可能性はある						
			☐ 可能性がない						
	有効性・ 効率性	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等	市内には、１８ヶ所の私立幼稚園がありその平均就園率は８５％前後で推移している。また、私立幼稚園は送迎用バス等を運行しており幼稚園の立地場所による地域性は薄らいでいる。そのため、幼児教育のあり方（効率的な運営等）について検討した。検討をした結果、今後の幼児教育を充実させていくためH2１年度に「幼児教育振興プログラム」を作成し、H2３年度末をもって廃園の方向にということになった。				
				☐ 臨時的任用職員等の活用					
				☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し					
				☐ 受益者負担の見直し					
				☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	１		実施主体 （所管部署）	
				☒ 上記以外の方法		２		実施主体 （所管部署）	
有効性・ 効率性	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある	市民の合意形成が必要である。					
			☐ ない						

コード	3422	事務事業名称	しろばら幼稚園維持管理事業				所属名	しろばら幼稚園
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			・平成２３年度をもって廃止と決定されたが、「幼児教育振興プログラム」を２１年度中に作成し、幼児教育の充実を図っていく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☒ 廃止（事業完了含む）								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			幼児教育の充実強化に努め、成果は向上しているが、廃止になるということで入園希望者は、減少している。そのため、経費も削減されている。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☒	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
1 園庭の整備や遊具を充実してほしい 2 園バスがほしい 3 安全で安心できる園 等									

所属長コメント	・平成２３年度をもって廃止ということとなったが、それまでは最善を尽くし、教育成果に努めていく。 ・保護者と一緒に運営していき、子どもにとって何が良いのかを考えていく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおりとする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☒ 廃止（事業完了含む）									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									